

研究室 からの メッセージ 176

Data(2020年9月現在)

所在地 〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1
スタッフ 田場真由美(教授), 比嘉憲枝(上級准教授), 本村純(上級准教授), 島袋尚美(准教授), 根間京子(助手)

URL www.meio-u.ac.jp/academics/human/nurse



名桜大学人間健康学部看護学科 地域看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は1994年に公設民営の私立大学として設立し、2010年に80番目の公立大学として生まれ変わりました。当時は国際学部の1学部でしたが、その後、大学院国際文化研究科、人間健康学部スポーツ健康学科、2007年には看護学科を開設し、2011年に大学院看護学研究科(修士課程)を開設しました。さらに、2016年に助産学専攻科、2019年に国際文化研究科国際地域文化専攻博士後期課程を設置し、現在は地域における教育の拠点を目指しています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学科は、豊かな人間性と倫理感を培い、地域・国際社会に貢献できる看護実践能力を備え、地域のニーズを理解し、市民参画型の健康づくりを支援できる専門職者の育成を目指しています。

特色ある科目としては、「フィジカルアセスメント」、沖縄の歴史や文化を高齢者や障害者との交流から学習する「ケアリング文化実習」、文化背景の異なる人々への看護や国際協力事例を学び、さらに発展途上国を訪問し、現地の人々らとの交流を通して異文化理解と国際保健協力活動を学習する「国際看護学」、離島・僻地地域の特徴と保健・医療・福祉の視点を学習する「島嶼僻地看護論」があります。保健師教育では、2012年度から保健師課程選

択コースを設置し、3年次編入生の5名を含め、30名が学んでいます。授業でのグループディスカッションや、保健所や市町村、産業保健の実習などの参画型教育を実施しています。

Research

どのような研究をしていますか？

研究テーマは「僻地における『8050』世帯とソーシャル・キャピタル、地域づくり」や「15歳の島立ち」、「認知症などの沖縄と海外移民者の比較」、「住民と大学生協働の演劇健康教育」、「保健師の現任教育」などで、地域に根差した研究を実施しております。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学科ではボランティア活動として、学生と教員が協働し、自治会での健康支援活動や育児支援、地域行事への参加などを行っており、10年以上継続しています。

また、地域看護学領域では、市町村の健康づくりや福祉計画、地域包括支援センターや国民健康保険の運営会議、市町村職員研修会の講師などとして教員が参画しています。さらに、大学付属の看護実践教育研究センター主催の「保健師スキルアップセミナー」と「保健師の事例検討会」を通して、県・市町村保健師と共に学習する機会を得るなど、地域連携を多岐にわたり実施しています。

ひとこと

新型コロナウイルス感染症の影響により本年度の授業形式はオンラインが中心となり、それに慣れるまでに多くの経験をしました。また、学生らは、臨地実習もできずに、やる気減少となりピンチに直面しました。「ピンチはチャンス」の発想で乗り越えた経験は、きっと、保健師のたくましさにつながると信じています。

田場

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp